

## 令和5年度第3回やまぐち部活動改革推進協議会（概要）

日 時	令和6年1月30日（火）10時00分から12時00分
場 所	県庁3階 職員ホール
構成委員	学識経験者、山口県中学校長会、山口県中体連、山口県高体連、山口県高野連、山口県中文連、山口県高文連、山口県吹奏楽連盟、山口県PTA連合会、山口県スポーツ協会、山口県都市教育長会、山口県町教育長会、総合型地域スポーツクラブ山口県連絡協議会
出席者	別紙参照
主な内容	<p>(1) 所管説明 教育庁 学校安全・体育課 観光スポーツ文化部 スポーツ推進課</p> <p>1 令和5年度の県及び市町の取組や今後の方向性について</p> <p>2 実証事業の取組、指導者研修会の開催、人材バンクの設置等について</p> <p>(2) 事例発表「令和5年度実証事業に係る取組について」</p> <p>○ 周南市教育委員会 学校教育課 課長補佐 石井 岳文</p> <p>○ 萩市教育委員会 学校教育課 課長補佐 糸本 康浩</p> <p>(3) 推進協議会委員による意見交換 テーマ：「部活動改革の着実な取組にむけて」</p>
主な発言	<p>○ これまで、部活動が学校教育活動の中で担ってきた意義や役割を、学校の教育課程内のどこで担っていくのかを検討していくことが必要である。</p> <p>○ 周南市・萩市の事例発表では、それぞれの地域でコンセプトやロードマップが明確であり、地域移行に向けた取組が着実に進められていることが認識できた。</p> <p>○ 取組が進んでいる地域と進んでいない地域との格差が出てきている。格差が出ないように県全体でどのように調整していくのが課題である。</p> <p>○ 取組を進めていくことで、新たな課題が出てくる。県・市町それぞれができることを整理して取組を進めていく必要がある。県と市町が連携して進めてほしい。</p> <p>○ 市町によっては、地域クラブ活動の運営団体・実施主体の段階的な体制整備において、引き受けていただける団体が見つからないことも想定され、生徒の活動機会の確保に不安を抱く保護者もいる。学校部活動の地域連携から地域移行に体制を整備する際に、課題がさらに大きくなるため、しっかりと整理しなければならない。</p> <p>○ 気軽に楽しむ活動だけではなく、子どもたちが仲間とともに同じ目標に向かって、困難を乗り越えながら取り組む活動も必要ではないか。</p>

令和5年度  
第3回やまぐち部活動改革推進協議会 出席者一覧 (R6.1.30)

番号	区分	団体名等	氏名	所属等	備考
1	委員	学識経験者	西 尾 建	山口大学経済学部 教授	欠席
2	委員	学識経験者	岡 田 淳 子	山口大学大学院教育学研究科 特命教授	
3	委員	山口県都市教育長会	厚 東 和 彦	周南市教育委員会 教育長	
4	委員	山口県町教育長会	清 時 崇 文	平生町教育委員会 教育長	
5	委員	山口県スポーツ協会	高 橋 等	常務理事	欠席
6	委員	総合型地域スポーツクラブ山口県連絡協議会	境 憲 一	会長	
7	委員	山口県PTA連合会	松 田 龍 信	会長	
8	委員	山口県吹奏楽連盟	松 浦 美 彦	理事長	
9	委員	山口県中学校長会	田 中 敬	山口市立鴻南中学校長	
10	委員	山口県中学校体育連盟	柴 崎 誠 二	下関市立吉見中学校長	
11	委員	山口県中学校文化連盟	鶴 永 幸 彦	山口市立大殿中学校長	
12	委員	山口県高等学校体育連盟	齊 藤 英 一 郎	県立西京高等学校長	
13	委員	山口県高等学校野球連盟	村 山 晋 一	県立防府商工高等学校長	
14	委員	山口県高等学校文化連盟	大 村 勇	県立山口中央高等学校長	
15	委員	山口県観光スポーツ文化部	伊 藤 啓 一 郎	スポーツ推進課長	代理
16	委員		山 本 昌 克	文化振興課長	
17	委員	山口県教育委員会	山 本 賢 一 郎	義務教育課長	代理
18	委員		大 下 康 一 郎	学校安全・体育課長	

19	業 実 報 証 告 事	周南市教育委員会	石井 岳文	学校教育課 課長補佐	
20		萩市教育委員会	糸本 康浩	学校教育課 課長補佐	

事務局	山口県観光スポーツ文化部	スポーツ推進課
	〃	文化振興課
	山口県教育庁	義務教育課
	〃	学校安全・体育課